



科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	楽器の歴史	楽器の理解	1 オーケストラ打楽器	オーケストラ打楽器理解		
			2 鍵盤打楽器	打楽器種類識別		
			3 ドラム基礎	オーケストラ役割把握		
2	ヴァイオリン	ヴァイオリン習得	1 膜鳴楽器	鍵盤打楽器特性	3	
			2 体鳴楽器	演奏法習得		
			3 記譜法学習	鍵盤楽器識別		
3	ヴィオラ等	ヴィオラ・チェロ習得	1 スコア解析	ドラム基本技術	3	
			2 ヨーロッパ楽器	リズム創造能力		
			3 アフリカ楽器	ドラムセット配置		
4	ベース類	ベース系習得	1 中近東楽器	膜鳴体鳴特徴	3	
			2 アジア楽器	打楽器分類能力		
			3 オセアニア楽器	演奏技術向上		
5	ハープ等	ハープ等習得	1 北中南米楽器	打楽器記譜法理解	3	
			2 その他の楽器	ドラム記譜法習得		
			3 楽器のまとめ	スコア読解力向上		
6	弦楽合奏	旋律譜面読解	1 電子楽器種類	ヨーロッパ楽器知識	3	
			2 電子楽器歴史	楽器由来理解		
			3 電子音色理解	演奏法比較検討		
7	高音木管	高音木管習得	1 音色実践応用	アフリカ楽器特性	3	
			2 まとめと発表	中近東楽器比較		
			3 授業の総括	リズム感発達		
8	低音木管	低音木管習得	1 発表準備	アジア楽器理解	3	
			2 プレゼンテーション	オセアニア楽器特色		
			3 フィードバック	伝統音楽の理解		
9	高音金管	高音金管習得	1 次期展望	北中南米楽器識別	3	
			2 オーケストラ解説	アメリカ大陸楽器比較		
			3 鍵盤打楽演習	民族音楽の特徴把握		
10	低音金管	低音金管習得	1 ドラム技法	世界の楽器多様性	3	
			2 膜鳴楽器役割	民族楽器総合理解		
			3 体鳴楽器特徴	文化背景の知識		
11	管楽合奏	管楽旋律理解	1 総合記譜法	電子楽器種類理解	3	
			2 打楽器配置	電子楽器進化把握		
			3 ヨーロッパ歴史	音色と技術の関係		
12	ピアノ	ピアノ技術習得	1 アフリカ伝統	電子音色の特徴	3	
			2 中近東比較	音色変化の理解		
			3 アジア文化	電子楽器の操作		
13	オルガン	オルガン技術習得	1 オセアニア独自	これまでの総まとめ	3	
			2 北中南米特色	プレゼンテーション能力		
			3 楽器比較検討	総合的理得度確認		
14	鍵盤総論	鍵盤総括理解	1 伝統楽器役割	授業の振り返り	3	
			2 電子楽器進化	知識の自己評価		
			3 音色分析	次期授業計画への提案		
15	まとめ	楽器総合理解	1 演奏技術	学習内容の統合	3	
			2 楽器概論発表	総合的技術評価		
			3 評価と反省	次の学習への準備		

評価方法 : 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価 : S : とてもよくできた、A : よくできた、B : できた、C : 少しうまくなかった、D : まったくできなかった

備考 等



科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	課題③基礎	基礎理解	1 楽曲概論	楽曲制作理解	3	
			2 基本制作	録音技術入門		
			3 録音実習	DAW基本操作		
2	課題③旋律	旋律作成	1 制作技術	音楽理論応用	3	
			2 録音手法	マルチトラック録音		
			3 アレンジ法	エフェクト活用		
3	課題③和声	和声適用	1 作曲理論	アレンジ基礎理解	3	
			2 ミキシング	ミックスダウン概要		
			3 デモ制作	クリエイティブ実習		
4	課題③リズム	リズム設計	1 中級制作	ジャンル分析能力	3	
			2 エフェクト応用	音質改善技術		
			3 マスタリング	音楽制作倫理		
5	課題③アレンジ	アレンジ完成	1 応用制作	作曲技術習得	3	
			2 音色調整	アドバンス録音		
			3 最終調整	編集技術向上		
6	課題③ミックス	音響仕上げ	1 上級制作	中級アレンジ理解	3	
			2 録音応用	ミックスバランス理解		
			3 詳細アレンジ	制作プロセス最適化		
7	課題③完成	発表形態	1 完成形検討	第1課題曲完成	3	
			2 録音最適化	自己評価方法習得		
			3 編集技術	録音セッション管理		
8	課題④基礎	基礎理解	1 曲の仕上げ	第2課題曲概要	3	
			2 課題曲深化	音楽ソフトウェア応用		
			3 マイク技術	録音環境カスタマイズ		
9	課題④旋律	旋律作成	1 セルフプロデュース	実践的DAW操作	3	
			2 課題曲完成	構造的アレンジ法		
			3 音響知識	高度編集テクニック		
10	課題④和声	和声適用	1 プレゼン準備	アドバンスドミキシング	3	
			2 課題③④概論	作品のスタイリング		
			3 新規制作	第2課題曲制作		
11	課題④リズム	リズム設計	1 課題③④録音	クリティカルリスニング	3	
			2 課題③④技術	音響技術応用		
			3 課題③④手法	制作プロジェクト管理		
12	課題④アレンジ	アレンジ完成	1 課題③④アレンジ	第2課題曲完成	3	
			2 課題③④理論	評価とフィードバック		
			3 課題③④ミキシング	ポートフォリオ制作		
13	課題④ミックス	音響仕上げ	1 課題③④デモ	前期総括と評価	3	
			2 課題③④中級	成果発表準備		
			3 課題③④エフェクト	自己分析と目標設定		
14	課題④完成	発表形態	1 課題③④マスタリング	成果のドキュメンテーション	3	
			2 課題③④応用	成果発表技術		
			3 課題③④音色	フィードバックの統合		
15	まとめ	総仕上げ	1 課題③④最終調整	次期準備と計画	3	
			2 まとめ準備	総合評価と自己改善		
			3 成果発表	コースの総括と反省		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等



科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	楽曲イメージ調査	リファレンス調査	1 楽曲イメージ	楽曲イメージの調査方法	3	
			2 データ管理再確	データ管理技術の確認		
			3 楽器選別指導	楽曲構想の発表能力		
2	楽曲設計	全体像の把握	1 ジャンル選定	楽器選別の判断力	3	
			2 リズムパターン	リズムとテンポの設定		
			3 テンポ理解	楽曲の骨組み作成能力		
3	リズムパート制作	DTM入力技術	1 楽曲構造把握	リズムパートの作成技術	3	
			2 セクション設計	ベースパターンへの理解		
			3 骨組み作成	アレンジスキルの向上		
4	モチーフ制作	DTM入力技術	1 リズムパターン習	モチーフ作成の基本理解	3	
			2 ドラムアレンジ	シンプルフレーズの作成		
			3 ベース構築	音色選択のセンス向上		
5	ウワモノ・コード	DTM入力技術	1 モチーフ作成	ウワモノ入力のテクニック	3	
			2 フレーズ構築	キーとコードの選択能力		
			3 音色選択	作曲方法への適応性		
6	楽器配置考案1	DTM編集技術	1 ウワモノ入力	楽曲バランスの理解深化	3	
			2 キー進行理解	配置と演出の創造性		
			3 コード理解	継続的制作の持続力		
7	楽器配置考案2	DTM編集技術	1 総合制作継続	中間確認における自己評価	3	
			2 楽器配置検討	デモ音源の完成度向上		
			3 演出計画	提出フォーマットの習得		
8	中間デモ制作	DTM編集技術	1 バランス調整	バランスアップ技法習得	3	
			2 配置決定	演奏方法の多様性理解		
			3 デモ音源作成	音楽表現の幅の拡大		
9	バランスアップ	DTM入力技術	1 音量調整	パンニング技術の習得	3	
			2 ファイル形式	空間系エフェクトの運用		
			3 バランスアップ	リバーブとディレイの活用		
10	空間系FX適用	DTM編集技術	1 演奏方法研究	リズム隊バランスの把握	3	
			2 楽曲イメージ合	リファレンスの活用方法		
			3 パンニング検討	グループトラック使用法		
11	ミキシング基礎	DTM編集技術	1 空間エフェクト	メインパートバランスの理解	3	
			2 臨場感表現	ウワモノの音量管理能力		
			3 ミキシング技法	コンプレッサーの効果的利用		
12	バランス調整	DTM編集技術	1 リズム隊バランス	リファレンスとの比較分析能	3	
			2 リファレンス活用	全体調整の最終チェック能力		
			3 メインバランス	VCAの概念理解と適用		
13	全体調整・比較	DTM編集技術	1 ウワモノ調整	最終ミキシングの完成度	3	
			2 コンプ活用	適切な書き出し形式選択		
			3 サイドチェーン	リミッターの使用理解		
14	最終ミキシング	DTM編集技術	1 全体調整	マスター効果の適用	3	
			2 VCA理解	提出楽曲のプレゼン能力		
			3 最終工程実施	授業内発表の自信構築		
15	まとめ	楽曲発表・総括	1 書き出し指導	学期の成果総括の自己評価	3	
			2 リミッター説明	ファイル形式の正確な理解		
			3 マスティング	プロジェクトの総合的な仕上げ		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等



科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	アレンジ構想	構想を作成	1 アレンジ構想	アレンジプラン作成		
2			2 テーマ分析	コード理解と応用		
3			3 コード設定	構造と形式分析		
2	リハーモナイズ	コード進行理解	1 リハーモナイズ	リハーモナイズ理論	3	
2			2 テーマ変換	テーマ変容技法		
3			3 新コード採用	新コード適用能力		
3	室内オケ編成1	編成技法	1 オーケ編成 1	オーケ編成基礎	3	
2			2 ピアノ組合	ピアノ連携手法		
3			3 構成調整	編曲初級テクニック		
4	室内オケ編成2	編成技法	1 オーケ編成 2	アンサンブル進行	3	
2			2 編曲深化	編成拡張手法		
3			3 パート別練習	楽曲解釈スキル		
5	室内オケ編成3	編成技法	1 オーケ編成 3	アレンジ上級テクニック	3	
2			2 アンサンブル	オーケストラ合わせ		
3			3 楽曲洗練	表現力豊かな演奏		
6	前・間奏アレンジ	編曲作業	1 前奏アレンジ	独自前奏作成	3	
2			2 間奏構成	創造的間奏アレンジ		
3			3 編成バランス	楽曲全体の調和		
7	2コーラス目	編曲作業	1 コーラスアレンジ	二コーラス目編曲	3	
2			2 ヴァリエーション	バリエーション開発		
3			3 楽曲展開	構成力向上		
8	後奏アレンジ	編曲作業	1 後奏アレンジ	後奏アレンジ技法	3	
2			2 終結部構想	締めの効果演出		
3			3 ハーモニー分析	全体構成の完成		
9	弦4/8拍口展開	編曲作業	1 カノン基本	カノン進行理解	3	
2			2 弦楽器技術	弦楽セクション展開		
3			3 カノン4部	パートトーディング		
10	弦5/8拍口展開	編曲作業	1 編曲技法	カノン4ハーモニー	3	
2			2 パート配置	アレンジ応用力向上		
3			3 カノン5部	セクション調和		
11	木管&金管追加	編曲作業	1 総合編曲	5パート編成能力	3	
2			2 セクションバランス	弦楽器編曲習熟		
3			3 木管組合せ	楽曲構築技術		
12	ボレロ風アレンジ	編曲作業	1 金管ハーモニー	木管楽器アレンジ	3	
2			2 編成拡張	金管楽器ハーモニー		
3			3 カノンボレロ	楽曲色彩の追加		
13	オーケストラ1	編曲作業	1 オーケストレーション	カノンボレロ制作	3	
2			2 トゥッティ展開	トゥッティアレンジ		
3			3 自作曲オーケ	オーケストラ全体感		
14	オーケストラ2	編曲作業	1 選曲分析	自作曲オーケストラ化	3	
2			2 既成曲アレンジ	既成曲アレンジ能力		
3			3 自作曲オーケ2	楽曲理解と再解釈		
15	授業のまとめ	内容の総括	1 編曲応用	オーケストレーション応用	3	
2			2 楽曲再解釈	独自の編曲展開		
3			3 総括	音楽的表現の深化		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等



科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	コード進行1	抽出した各授業の目的	1 有名曲コード1	海外曲コード進行弾き	3	
			2 右左手コンピング	右左手リズムコンピ		
			3 バリエーション	バラバラリズム演奏		
2	ポイシング1	リズムコンピング習得	1 有名曲コード2	コード進行弾き強化	3	
			2 オリジナルポイシング	オリジナルポイシング作		
			3 クリエイティブ性	進行応用力向上		
3	ポイシング2	ポイシング基礎技術	1 有名曲コード3	ポイシング技術向上	3	
			2 オリジナルポイシング	コード進行応用		
			3 アレンジ応用	クリエイティブ弾き		
4	テクニック1	ポイシング応用技術	1 奏法テクニック1	奏法テクニック習得	3	
			2 8小節コード進行	独自コード進行弾き		
			3 独自性開発	8小節コンビネーション		
5	テクニック2	奏法とテクニック1	1 奏法テクニック2	イントロエンディング奏法	3	
			2 8小節コード進行	奏法応用力強化		
			3 独自性開発	パフォーマンス力向上		
6	曲の構築	イントロエンディング	1 奏法テクニック3	ジャンル理解を深める	3	
			2 イントロエンディング	音楽性適応力向上		
			3 曲の構造	パターン応用力獲得		
7	ジャンル適応1	演奏実践	1 ジャンル順応1	リードシート読解力	3	
			2 イントロエンディング	アンサンブル即応力		
			3 演奏表現力	エレピ合奏能力		
8	ジャンル適応2	演奏実践	1 ジャンル順応2	Dimコード応用力	3	
			2 イントロエンディング	進行読解と即応		
			3 演奏表現力	エンサンブル技術		
9	アンサンブル	演奏実践	1 ジャンル順応3	Augコード理解	3	
			2 アンサンブル演奏	即応性強化の応用		
			3 エレピ実践	合奏でのアダプト		
10	Dimコード活用	音楽理論活用	1 Dimコード進行	ナチュラルテンション理解	3	
			2 アンサンブル演奏	オリジナル曲ピアノ演奏		
			3 エレピ実践	ナチュラルコード活用		
11	Augコード活用	音楽理論活用	1 Augコード進行	オルタードテンション理解	3	
			2 アンサンブル演奏	創造性のある演奏		
			3 エレピ実践	オルタードコード活用		
12	ナチュラルテンション	音楽理論活用	1 ナチュラルコード	まとめで総合理解	3	
			2 オリジナルピアノ曲	演奏力の総合的強化		
			3 ピアノ演奏力	総合目標の達成		
13	オルタードテンション	音楽理論活用	1 オルタードコード	まとめで応用力上げ	3	
			2 オリジナルピアノ曲	自己総合評価能力		
			3 ピアノ演奏力	まとめの成果把握		
14	オリジナル演奏	オリジナル演奏実践	1 まとめ1	オリジナル楽曲習得	3	
			2 オリジナルピアノ曲	ピアノ演奏力向上		
			3 ピアノ演奏力	自作曲の創作能力		
15	まとめ	総合的技術	1 まとめ2	総括的演奏理解	3	
			2 総合復習	演奏技術の精緻化		
			3 知識統合	全15回の内容について理解の深化		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース 2年次	必／選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	西川進	教員の実務経験	有	実務経験の職種	ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター				

### 【科目の目的】

卒業後の進路を考慮しながらオリジナリティを追求し、ビジネスプランの検討を行う。各トラックの音量や定位、音響を調整し、品質の高いデモ作品を制作する技術を身につけ、卒業後に再現性と継続性が期待できるスキルを獲得する。

## 【科目の概要】

音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやコンテスト等に積極的に参加。  
音楽業界で通用するスキルと知識を持った音楽家育成します。

【到達目標】

- A. 卒業後を想定して、オリジナリティの追求とビジネスプランの検討がされている。
  - B. 各トラックの音量・定位・音響を適切に揃えている品質のデモ作品が完成する。
  - C. 卒業後を想定して、再現性と継続性が見込める。

## 【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

### 評価基準=ルーブリック

ループリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標A	卒業後を想定して、オリジナリティの追求とビジネスプランの検討がされている		卒業後を想定して、オリジナリティの追求がされている		到達目標Aについてさらなる努力が必要
到達目標B	各トラックの音量・定位・音響を適切に揃えている品質のデモ作品が完成する		各トラックの音量・定位を適切に揃えている品質のデモ作品が完成する		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標C	卒業後を想定して、再現性と継続性が見込める		レコーディングに必要なリードシート譜面を作成できる		到達目標Cについてさらなる努力が必要

【教科書】

特になし

## 【參考資料】

必要に応じて、プリントを配布する

### 【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はループリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。

60%（知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する）、授業後に提出するレポートによる評価占40%（具体的に学習

授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025	
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価
1	パーカッション研究	音色の理解	1 音色理解	パーカッション音色を識別		3	
			2 パーカッション研究	打楽器の特性を理解			
			3 打楽器分析	音色の応用ができる			
2	ドラム研究	リズムの探求	1 ドラム理解	ドラム音色を識別		3	
			2 ループ分析	ループ音色を理解			
			3 音色組合せ	音色の組合せができる			
3	イントロ考案	楽曲設計	1 イントロ構築	イントロ作成ができる		3	
			2 創造性促進	イントロ構成を理解			
			3 アイデア出力	創造性が向上する			
4	イントロ強化	楽曲設計	1 サブイントロ	サブイントロ作成		3	
			2 展開技法	サブイントロ展開			
			3 編集技術	イントロ編集ができる			
5	ブレイク考案	楽曲設計	1 ブレイク研究	ブレイク作成ができる		3	
			2 キメの作成	キメ作成技法			
			3 構成力向上	パターン化を避ける			
6	リバース研究	音色の理解	1 リバース理解	リバースフレーズ理解		3	
			2 フレーズ研究	リバース応用ができる			
			3 逆再生効果	創作の視野が広がる			
7	制作技法	楽曲設計	1 ミックス技術	ミックス基礎が固まる		3	
			2 マスタリング理解	マスタリング基礎			
			3 書き出し方法	プロダクション工程理解			
8	作品発表	発表の技巧	1 提出手順	プレゼンシート作成		3	
			2 プレゼン作成	プレゼンテーション能力			
			3 コーラス効果	自身の作品提出			
9	コーラス効果	エフェクト応用	1 ダブリング研究	コーラス効果理解		3	
			2 声の重層化	ダブリング技術			
			3 ボーカル編集	ハーモニー作成ができる			
10	ボーカル編集	エフェクト応用	1 トランク調整	ボーカル編集技術		3	
			2 編集力強化	音声データの理解			
			3 ミックス基礎	編集スキルの向上			
11	ミックス基礎	EQの活用	1 EQ活用法	ミックス理論の再確認		3	
			2 圧縮理解	EQ適用が自在			
			3 パンニング法	コンプレッサー活用			
12	センド/リターン	エフェクト応用	1 音場作成	パンニングの理解		3	
			2 空間感編集	センドチャンネル利用			
			3 センド応用	リバーブ適用技術			
13	マスタリング	最終的調整	1 リバーブ理解	ディレイ応用ができる		3	
			2 ディレイ効果	マスタリング深化			
			3 マスタリング復習	品質向上の技術			
14	制作実践	トラックダウン	1 質向上策	最終仕上げの理解		3	
			2 仕上げ技術	マスタリングの応用			
			3 ミックス発展	総合プロダクション技術			
15	まとめ	完成作品評	1 マスタリング応用	完成度の高い作品		3	
			2 制作完成度	発表準備が整う			
			3 作品発表準備	プレゼン力が向上する			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等



科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法 自己評価
1	課題⑨基礎	基礎理解	1 課題曲⑨紹介	課題曲⑨の概要理解	3	
			2 基本制作法	基本的構造把握		
			3 楽曲構造	メロディの要素認識		
2	課題⑩旋律	旋律作成	1 課題曲⑩分析	課題曲⑩の解析技法習得	3	
			2 コード進行	リズムの基礎知識		
			3 リズム感得	ハーモニーの理解深化		
3	課題⑪和声	和声適用	1 課題曲⑪練習	楽曲のメロディ作成能力	3	
			2 メロディ作成	楽曲背景知識習得		
			3 アレンジ法	楽器役割の理解		
4	課題⑫リズム	リズム設計	1 課題曲⑫応用	楽曲制作の全体像把握	3	
			2 楽器選定	コード構築能力習得		
			3 ダイナミクス	アレンジメント基礎		
5	課題⑬完成	初稿完成	1 課題曲⑬発表	楽曲の完成形態理解	3	
			2 評価方法	楽曲評価基準知識		
			3 フィードバック	改善点の特定能力		
6	課題⑭導入	テーマ性	1 課題曲⑭紹介	課題曲⑭の概要理解	3	
			2 再構築法	応用的構造把握		
			3 エフェクト利用	複雑リズムの解析能力		
7	課題⑮テクニック	楽器配置	1 課題曲⑮分析	和声の拡張知識習得	3	
			2 録音技法	テクスチャー理解強化		
			3 ミックス調整	楽曲の変化・発展認識		
8	課題⑯構造	曲構成	1 課題曲⑯練習	複雑メロディ作成能力	3	
			2 進行変更	ブリッジ部分構築能力		
			3 サウンド選択	アレンジの応用知識		
9	課題⑰編曲	編曲進行	1 課題曲⑰応用	楽曲発表の準備能力	3	
			2 和声技法	楽曲の詳細な評価技法		
			3 テクスチャー	音楽制作の最終調整能力		
10	課題⑱評価	自己評価	1 課題曲⑱発表	リズムとメロディ統合	3	
			2 曲の展開法	楽曲のテーマ設定能力		
			3 ブリッジ作成	楽曲の変更・修正技法		
11	課題⑲発展	スキル向上	1 課題曲⑲紹介	楽曲全体の流れ理解	3	
			2 音域活用	リスニング技法習得		
			3 モチーフ展開	楽曲の構造変更能力		
12	課題⑳高度技法	テクニカルな作曲	1 課題曲⑳分析	楽曲の表現力向上策	3	
			2 実践的評価	音色選択の基本知識		
			3 リスニング会	楽器の演奏法理解		
13	課題㉑楽器編	音色選択	1 課題曲㉑改善	曲構造の創造的変更能力	3	
			2 音色調整	アレンジの最終調整		
			3 エディット技法	MIDI編集技術習得		
14	課題㉒マスタリング	DAW技術	1 課題曲㉒完成	マスタリングの基礎	3	
			2 最終ミックス	音楽のジャンル理解		
			3 マスタリング	コードの応用技法		
15	課題㉓公開	総仕上げ	1 課題曲評価	リミックス技術習得	3	
			2 ポートフォリオ	楽曲プレゼンテーション技法		
			3 フィナルレビュー	レビューを通じて今後への展望が把握できる		

評価方法 : 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価 : S : とてもよくできた、A : よくできた、B : できた、C : 少しうまくなかった、D : まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース 2年次		必／選	選	時間数	240	単位数	8	種別※
担当教員	南慶樹		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター	

【科目の目的】

楽譜を読むを中心とした基礎訓練を行い、読譜を行うことができるよう習得した後、楽譜を通じて様々な楽曲にアプローチし、自らの音楽的な表現力を向上を目指す。

【科目の概要】

音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやコンテスト等に積極的に参加。

音楽業界で通用するスキルと知識を持った音楽家育成します。

【到達目標】

- A. 半音と全音の聴き取りができる
- B. 講師指定のメロディを採譜できる
- C. 講師指定のハーモニーを採譜できる

【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準=ループリック

ループリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	半音と全音の聴き取りが適切にできる		半音と全音の聴き取りがややできる		到達目標Aについてさらなる努力が必要
到達目標 B	講師指定のメロディを適切に採譜できる		講師指定のメロディをやや採譜できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 C	講師指定のハーモニーを適切に採譜できる		講師指定のハーモニーをやや採譜できる		到達目標Cについてさらなる努力が必要

【教科書】

特になし

【参考資料】

必要に応じて、プリントを配布する

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はループリック評価に基づき、授業内課題、レポートなどで行う。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法 自己評価
1	音程理論	課題の理解	1 楽譜の基礎	楽譜読解の基礎ができる	3	
			2 音程の理論	音程理論の理解ができる		
			3 楽典エクササイズ	楽典基本エクササイズができる		
2	音程理論	エクササイズ	1 楽譜読解力	音符と休符を識別できる	3	
			2 音程認識	完全・長短音程を認識		
			3 リズムトレーニング	基本リズムを演奏できる		
3	音程理論	エクササイズ	1 五線譜の書き方	五線譜に音符を書ける	3	
			2 完全・長短音程	音階を正確に歌える		
			3 音階の構築	簡単な和音を弾ける		
4	音程理論	エクササイズ	1 音符と休符	音符と休符を意識して歌える	3	
			2 和音の構成	リズムパターンを作れる		
			3 即興演奏	簡単な即興演奏ができる		
5	音程理論	エクササイズ	1 クレッシェンド	ダイナミックマークを理解	3	
			2 転調の理解	転調の基礎がわかる		
			3 メロディ作成	メロディーを作曲できる		
6	音程理論	エクササイズ	1 アーティキュレーション	アーティキュレーションができる	3	
			2 調性の感覚	調性の理解が深まる		
			3 コードの進行	コード進行を弾ける		
7	音程理論	エクササイズ	1 ダイナミクス	音楽表現を豊かにできる	3	
			2 相対音感	相対音感の基礎がわかる		
			3 アンサンブル	アンサンブルの基礎がわかる		
8	音程理論	エクササイズ	1 フレーズの分析	フレーズ分析ができる	3	
			2 耳コピ練習	基本的な耳コピができる		
			3 指導法の展開	音楽教育法を知る		
9	音程理論	エクササイズ	1 リズム感の強化	リズム感が養える	3	
			2 音色の識別	音色を識別できる		
			3 スケールの実践	実用的なスケールが弾ける		
10	音程理論	エクササイズ	1 テンポの変化	テンポ変更ができる	3	
			2 即時反応	反応速度が上がる		
			3 表現力向上	表現力が向上する		
11	音程理論	エクササイズ	1 音楽理論の応用	理論知識を実践できる	3	
			2 アレンジメント	アレンジメントができる		
			3 演奏技術	演奏技術が向上する		
12	音程理論	エクササイズ	1 運指練習	正確な運指ができる	3	
			2 聴音練習	聴音スキルが向上する		
			3 インターバル	インターバルがわかる		
13	音程感覚向上	課題の理解	1 ソルフェージュ	ソルフェージュができる	3	
			2 創作活動	自分の曲を作れる		
			3 音楽の歴史	音楽の歴史がわかる		
14	音程感覚向上	エクササイズ	1 楽器の知識	楽器の知識が増える	3	
			2 発声練習	発声技術が向上する		
			3 音程の変化	音程の変化を聴き分ける		
15	音程感覚向上	エクササイズ	1 演奏表現	演奏表現が豊かになる	3	
			2 大人数ハーモニー	大人数ハーモニーの音がわかる		
			3 今後への展望	ソルフェージュ力アップについて訓練法がわかる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等